

生活者援助論を受講したみなさんへ（授業研究に関する情報）

本学では、以下の授業研究を実施しております。この研究は、授業で使用したデジタル化教材のアクセスログと学習管理システムに投稿された事後課題（レポート）を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や学生のみなさんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》ジグソー学習法とデジタル化教材を組み合わせた基礎看護技術教育設計に関する研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学看護学部 基礎看護学領域・講師 高島真美

《研究の目的》デジタル化教材とジグソー学習法の組み合わせという学習方略で学ぶことによる意欲や関心の向上を明らかにする

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2026年3月31日

《研究の方法》

●対象となる学生

関西医科大学看護学部の学生で、2022年12月1日から2024年3月末日までの間に生活者援助論を受講した方

●研究に用いる情報の種類

- 1) アクセスログ（Nursing Skills、KMULAS）（回数、年月日）
- 2) Nursing Skillsの確認テストの実施状況
- 3) 事後課題レポート（Refraction Paper）各項目300文字程度×10回
（非公開の依頼があった記述は除く）
 - ①事前準備をして、気づいたり・学んだりしたこと
 - ②専門家をやってみて、気づいたり・学んだりしたこと
 - ③看護師・患者役をやってみて、気づいたり・学んだりしたこと
 - ④チーム全体において、気づいたり・学んだりしたこと
 - ⑤リフレクションをやってみて、気づいたり・学んだりしたこと
 - ⑥グループメンバーからの他者評価で印象に残っていること
 - ⑦自己評価・今後の課題
 - ⑧授業に関する感想・要望・意見etc
- 4) チャットツール（Microsoft Teams®）投稿内容
 - ✓ 教員が提示した「看護技術要点」へのアクション件数
 - ✓ 看護技術要点への学生からの質問及び教員へのコメント
- 5) 事前質問受け参加状況（2024年度のみ）

《情報の利用又は提供を開始する予定日》

2024年4月1日（この情報公開（通知）から2週間が経過した日より情報の利用を開始します）

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の学生の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での情報等の取扱い》

学生の氏名や学籍番号が特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱います。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、学生の不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

＊上記の研究に情報利用することをご了解いただけない場合は、当該データを削除いたしますので以下にご連絡ください。拒否の申し出をしたことによる不利益は一切ありません。なお、解析後に氏名あるいは学籍番号との突合ができなくなったデータについては削除できないことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学看護学部 基礎看護学領域 高島真美
〒573-1004 大阪府枚方市新町2-2-2
TEL : 072-804-0037 (直通)
E-mail : takasmam@hirakata.kmu.ac.jp